

社明運動の輪を広げよう

乙訓更生保護婦人会

愛の一聲運動で推進

社会から青少年の犯罪や非行の防止に努めよう、活動を進めてる婦人会があります。その婦人会は、乙訓更生保護婦人会(会長 山本サダカさん・鶴冠井町御屋敷)です。

現在の会員は約百名、乙訓の保護区内(乙訓二市一町と京都市南区久世、右京区六原野合む)の青少年成人に対する犯罪予防や更生保護などを通じて、明るい社会をつくることを目的

つた先ごろも、更生施設の作品展示会に出かけられ寄付されるなど、地道な活動を続けておられます。

発足当時は、何から運動の手をつけたらいいか暗中模索の状態でしたが、研修会をもつなどして、ようやく会の主旨が浸透、活動もじょじょに軌道にのり、明るい社会をつくる輪を広げようと、会員には、ひまわりバッヂを配布して、推進を進めています。

会員の山本サダカさんは

地域なことでもつかしさもありますが、関係団体と連絡を取り、運動を進めています。

この調査は、昭和四十七年度出生児の新生児家庭訪問時の妊娠の実態報告が、このほどまとまりました。

この調査は、昭和四十七年度出生児で、市に住民登録した児の母親千百六十二名を対象に質問調査、母子管理票の記録に基づいて集計したものです。

実態報告は、初産婦間の比較によりまとめられ、その結果をみてみます。

セント、経産婦六・七パーセントと非常に少なく、前後一週を含めると、初吸引分娩、帝王切開、鉗子分娩、骨盤分娩の順に異常などが、多く認められました。

経産六三・七パーセントと、過半数がこの期間に生まれていることがわかれました。また予定日より

経産で四・九パーセントと認められました。

初産年齢二十五歳以下が大半

調査対象は千百六十三名

妊婦の実態報告①



(理事会で運動の進め方を話し合う)

(文化財シリーズ③)

五塚原古墳は、寺戸町大牧一帯の向日丘陵にある全長百二メートルの大きな前方後円墳です。古墳の東側には、ハリコという大きな池があり、また、古墳の上にのぼれば、京都市街がのぞめるという風光明媚なところです。

この古墳は、後円部の直径が六十メートル、高さ九メートル、前方

メートル級の古墳が四つも並んでいます。

向日丘陵には、古墳時代前期の百メートル級の古墳が四つも並んでいます。

ですが、中には消滅という運命をたどった古墳もあります。

というのも、乙訓地方の古墳は、篠取培のヤブにおおわれているのが多く、毎年の土入作業によって、知らず知らずのうちに、古墳の破壊に

あります。

メートル級の古墳が四つも並んでいます。

向日丘陵には、古墳時代前期の百メートル級の古墳が四つも並んでいます。

ですが、中には消滅という運命をたどった古墳もあります。

というのも、乙訓地方の古墳は、篠取培のヤブにおおわれているのが多く、毎年の土入作業によって、知らず知らずのうちに、古墳の破壊に

あります。

メートル級の古墳が四つも並んでいます。

向日丘陵には、古墳時代前期の百メートル級の古墳が四つも並んでいます。

ですが、中には消滅という運命をたどった古墳もあります。

というのも、乙訓地方の古墳は、篠取培のヤブにおおわれているのが多く、毎年の土入作業によって、知らず知らずのうちに、古墳の破壊に

あります。

メートル級の古墳が四つも並んでいます。

向日丘陵には、古墳時代前期の百メートル級の古墳が四つも並んでいます。

ですが、中には消滅という運命をたどった古墳もあります。

メートル級の古墳が四つも並んでいます。

向日丘陵には、古墳時代前期の百メートル級の古墳が四つも並んでいます。

ですが、中には消滅という運命をたどった古墳もあります。